

Ⓑ (1) 平成 28 年 (2016 年) 1 月 29 日 金曜日



高校生を対象に授業をする桐井さん(右)

中高連携 英語力アップへ

研究授業 教員が教え方など探る

蘇南高

蘇南高校 交換もした。
(杉村修一校長)で28日、
中学校の英語科教員が高校生2年生9人を対象に授業をする「研究授業」が行われた。中高生の英語力の向上に向けて、より良い教え方を探るための取り組みで、同校や南木曾中学校の英語科の教員ら11人が参観し、意見

交換もした。開田中学校教頭で、関東甲信越英語教育学会理事の桐井誠さん(53)が教壇に立った。英語で自己紹介をした後、生徒と英会話しながら授業を進めた。高校では使われる機会が少ない、新出単語を書いた「フラッシュカード」を使う場面もあり、生徒の関心を集めていた。桐井さんは「中学校教員の立場から『使える英語』に

つながる提案ができれば」と話した。
中高連携の一環で実施した。蘇南高校の前野春樹教諭(37)は「授業では英文法や読解力、会話力などをバランスよく身に付けさせることが求められる。生徒を飽きさせないことが重要で、フラッシュカード一つで関心を引くことができる」と良さを見直したと話していた。
(細野はるか)